

# やる気発生装置

高校(1,2年)						高校入試
京都工学院	堀川	紫野	鴨沂	桃山	北稜	公立中期
2/20~	2/25~	2/27~	3/3~	3/3~	3/4~	3/7
学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	
5日目	3日目	1日目	あと4日	あと4日	あと5日	あと8日

## 迫る最終決戦。挑む人の特権

比較的あたたかく、穏やかな朝でした。きょうから週末にかけては、寒波が落ち着いてだいぶ気温が上がる予報が出ています。その後は天気が崩れたりまた寒さが戻ったりしそうですとも言われていますが、いずれにせよ季節は確実に春へと進んでいきます。そういえば玄関先で久しぶりにカメムシを見ました。暖くなればなつたでまた困ったことも出てくるのは確かですが、次の季節の訪れをいつもワクワクしながら待てるような人生を送りたいなと思っております。

公立高校入試は、主戦場である中期選抜が迫る、慌ただしい時期です。出願校調査の数値が出て、いつも懇意にいただいているT先生がいち早くLINEで送ってくださいました。年間で何度か出る公立の志願者データのなかでも、定員割れがあるかどうかに直結する生々しいものです。まだ願書の受付も終わっていない段階ですので人数の変動はあり得ますから、実際のところどうなんやろ?と思ひ、過去2~3年のデータを引っ張り出して、この時点の調査結果と実際の出願者数を比較してみると、各校数名の変動があるものの、ほぼこの数値通りの志願者がでていました。(洛北については2,30名増えます。これは、出願できるが調査対象から外れる宇治や城陽などからの志願者が加わるためと思われます)。「前期選抜でダメなら諦めて私学に行ってしまう受験生が出る」とはよく言われる事ですが、このデータを見るなら、実際には中期までの受験計画を前もって考えてその通りに出願していく受験生が大多数と考えられます。

最後の入試に向けて努力する歴代中3生たちの姿を見て、例外なく感じることがあります。前期から中期までの3週間は、学力面でも精神面でも、驚くほど成長できる期間です。ここで鍛えられたことは受験が終わっても間違いなく財産となるはずで、それは中期組に与えられた特権だと思います。前期選抜が終わってから全く変わることなくひたむきに頑張っている受験生を全力応援する日々です。



寒波が去って、京都は好天になりました。自転車で買い物に出ると汗ばむ暖かさでした。

高校名	学科名	募集人数	志願者数	倍率
山陰	普通(単位制)	120	270	2.25
鴨沂	普通	110	120	1.09
洛北	普通(単位制)	165	184	1.11
北稜	普通	130	112	0.86

中期選抜へ最終の志望調査データが出ました。過去の数値を見ても、実出願数とのズレはわずかです。

**当面の教室予定**

**2/27(木)~2/28(金)**  
 16:00~22:00

**3/1(土)**  
 10:00~12:00  
 16:00~22:00

**3/2(日)**  
 10:00~12:00  
 16:00~21:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。  
 ※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。